



古い習わしを今に伝える「車田植」(北鶴島)



生きもの調査



伝統文化の保存・継承 鬼太鼓



7月28日に羽茂地区公民館で行った意見交換会

ジアス  
**GIAHS (世界農業遺産)**  
意見交換会を行いました

ジアスを市民の皆さんからご理解いただくため、両津・国中・相川・南部地域で7月に意見交換会を行いました。佐渡の農業やジアスの活用方法について、どのような取り組みを進めていくのか活発な議論が行われました。市では、市民の皆さんからご意見をいただき、今後5年間の行動計画(アクションプラン)に反映させていきます。

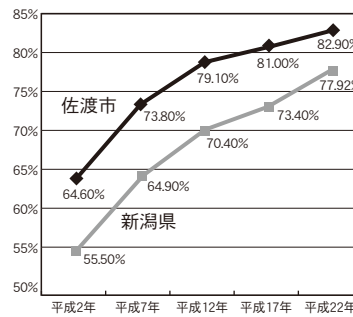
今後も集落や市内で活動している団体、農業者の皆さんなどとの意見交換会を実施していきたいと考えています。

詳しくはお問い合わせください。

**お問い合わせ**

市役所農林水産課 生物多様性推進室  
☎63-3761 FAX63-5127

60歳以上の農業就業者(販売農家)の構成比推移



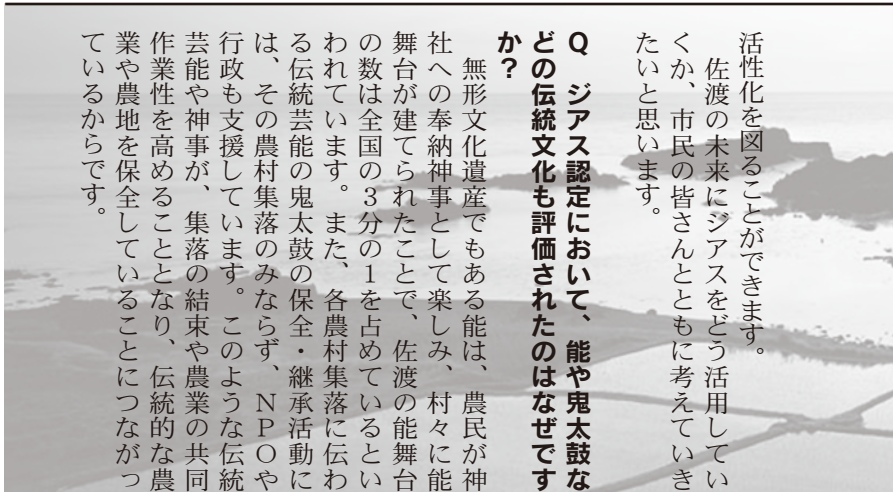
また、農業者の高齢化も深刻です。農業就業人口(自営農業に主として従事した人)の平均年齢は68.2歳。そして、60歳以上の農業就業者(販売農家)は7,114人で、農業就業者(販売農家)全体の82.9%を占めます。そのほか、農産物価格の低迷、離島の宿命である輸送コストの問題などもある。

り、佐渡の農業が解決すべき課題は多くあります。(データは2010年世界農林業センサス)

**ジアス認定をきっかけに**

今まで佐渡の農家の皆さんが普通に取り組んできた生産活動とともに、集落の結束を高める鬼太鼓や、神に収穫を感謝する奉納能など、伝統芸能の継承もジアス認定の評価ポイントとなりました。農家や集落にとっては当たり前の活動が世界に認められたのです。農業は、生物多様性の維持や環境保全のためにも、重要な役割を担っています。

ジアスをどう活用していくか。これから就業する若者にも魅力的で夢のある農業施策や、観光、交流人口の拡大、6次産業化など、地域活性化のために知恵を絞り、取り組んでいく必要があります。



活性化を図ることができます。佐渡の未来にジアスをどう活用していくか、市民の皆さんとともに考えていきたいと思えます。

**Q ジアス認定において、能や鬼太鼓などの伝統文化も評価されたのはなぜですか?**

無形文化遺産でもある能は、農民が神社への奉納神事として楽しみ、村々に能舞台が建てられたことで、佐渡の能舞台の数は全国の3分の1を占めているといわれています。また、各農村集落に伝わる伝統芸能の鬼太鼓の保全・継承活動には、その農村集落のみならず、NPOや行政も支援しています。このような伝統芸能や神事が、集落の結束や農業の共同作業性を高めることとなり、伝統的な農業や農地を保全していることにつながっているからです。